

令和8年2月2日

質問に対する回答書

入札参加者様

工事担当課長 建築局公共建築部学校整備課長

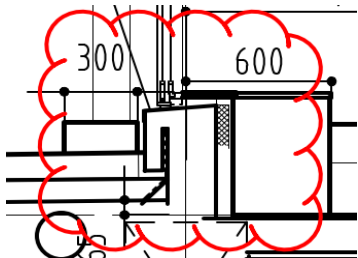
工事名 菊名小学校建替工事（建築工事）

上記工事の設計図書に関して質問がありましたので、次のとおり回答します。

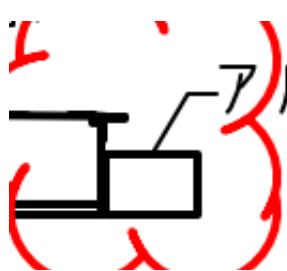
番号	質 問	回 答
1	柱フープの加工方法は、全てH形と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。(AS008, AS210, AS211)	宜しいです。但し、円柱は、SP形又は丸形です。
2	柱リスト(1)に定着プレート要領図の記載がありますが、定着プレートを採用する場合に限り適用するとし、柱頭柱脚主筋及び梁主筋の柱内定着部は全て在来折り曲げアンカー定着と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(AS210)	宜しいです。
3	大梁リスト(2) 1階G3Cの梁幅Bがリストでは400mmですが、断面図では500mmある様に思われます。500mmを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(AS213)	宜しいです。
4	大梁リスト(2) 1階G3Cのスターラフ形状がリストでは中子筋2本有りですが、断面図には中子筋の記載が見当りません。リストの中子筋2本有りを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(AS213)	宜しいです。
5	スラブリストS20及びS20Aの備考欄に給食ブリッジ範囲はフラットデッキ(Z27)との記載がありますが、デッキプレート厚の記載が見当りません。1.2mmと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(S218, AS307)	宜しいです。

6	<p>雑詳細図-7において、パイプに使用されているPLを下記の様に読み替えて考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(AS307)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PL-24 → PL-25 ・PL-27 → PL-28 	<p>内訳書に記載の通りとしてください。 変更が必要な場合には別途協議とします。</p>
7	<p>ハイットライト点検床鉄骨において持ち出し鉄骨のRC躯体接合部を下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A751)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H-150*150*7*10 BPL-16*250*250 A. Bolt4-M20 L600 無収縮モルタル30 	<p>宜しいです。</p>
8	<p>シャッター受鉄骨において上弦・下弦材の□-100*100*2.3は上階のRCスラブ下から吊って固定すると考えて宜しいでしょうか。(A740～741)</p>	<p>宜しいです。</p>
9	<p>上記で宜しい場合、RC接合部の詳細を下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BPL-6*150*200 A. Bolt2-M16 L400 無収縮モルタル30 	<p>宜しいです。</p>
10	<p>部分詳細図16においてレール受け用のPL-5をPL-6に読み替えて考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A736)</p>	<p>内訳書に記載の通りとしてください。 変更が必要な場合には別途協議とします。</p>
11	<p>部分詳細図9においてスチールパーテーション受の吊補強材とRC接合部の詳細を下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A729)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・C-100*50*20*2.3 BPL-6*100*150 A. Bolt2-M16 L400 無収縮モルタル30 	<p>宜しいです。</p>
12	<p>部分詳細図2において昇降口AW受用支柱のRC接合部詳細を下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A722)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BPL-6*150*150 A. Bolt2-M16 L400 無収縮モルタル30 	<p>宜しいです。</p>
13	<p>雑詳細図-9においてSB25剛接合端部はSN400Bとありますが屋根伏図には剛接合の図示がありません。SB25に剛接合は無しと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(AS309)</p>	<p>宜しいです。</p>

14	外部仕上表 外部詳細 屋上パラペットにおいて、共通事項にコンクリート笠木は天端及びはな面をウルタ系塗膜防水X-2の立上り部の仕様で仕上る。と記載がありますが、ステンレス笠木設置部分の天端もウルタ系塗膜防水は必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A201・701)	不要です。
15	屋上 ステンレス笠木において、表面仕上はHL仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A701)	宜しいです。
16	標準詳細図-1 A-6 設備関連 屋上設備立上り B部分詳細図において、設備配管貫通部シーリングの記載がありますが、設備配管貫通部のシーリングは設備工事区分と考えて宜しいでしょうか。建築工事区分の場合は、貫通配管のサイズ、員数を御指示下さい。(A701)	設備工事区分とお考えください。
17	屋上 小小屋において、取出口とは異なる位置にベントキャップ (VC) の記載がありますが、ベントキャップは設備工事区分と考えて宜しいでしょうか。建築工事の場合は、ベントキャップの仕様・詳細を御指示下さい。 (A106)	設備工事区分とお考えください。
18	部分詳細図27において、図面名称に階段金属手摺5と記載がありますが、姿図より屋上に設置されている手摺と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A106・747)	宜しいです。
19	屋上 手摺において、手摺基礎の記載がありますが、PC既製品と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A106・747)	宜しいです。
20	部分詳細図31(ハイトライト断面図) 外壁 押出成形セメント板において、t=100と記載されていますが、特記仕様書(その2) コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事では厚さ60mmが適用、標準詳細図-2 B-15 押出成形セメント板壁：一般部(縦壁工法)でもt=60で記載されています。部分詳細図31(ハイトライト断面図)を優先し、外壁 押出成形セメント板の厚みは100mmと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A13・702・751)	宜しいです。

21	テラス 出入口 サッシ部において、矩計図2と標準詳細図-1 A-11 防水サッシ部納まりで図示が異なっていますが、標準詳細図-1 A-11 防水サッシ部納まりを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A402・701/A-11)	宜しいです。
22	上記質疑に関しまして、矩計図2が正しい場合、どの様に納まっているか不明です。添付図 雲マーク範囲の防水サッシ部納まり詳細を御指示下さい。(A402)	上記の通り、A701標準詳細図-1 A-11図の納まりとしてください。
		
23	テラス 出入口前に踏台の記載がありますが、仕上が不明です。詳細を御指示下さい。(A401)	後打コンクリート造作 素地仕上としてください。 配筋はD10@200ダブル配筋としてください。
24	R階 給食機械室 出入口上部に庇の記載がありますが、仕様・詳細が不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 <input type="checkbox"/> 小庇…RC造 <input type="checkbox"/> 天端…ウレタン系塗膜防水仕上 <input type="checkbox"/> 鼻先・上裏…防水形複層塗材RE仕上 (A532)	・小庇：RC造 ・天端：防水形複層塗材RE仕上 ・鼻先・上裏：防水形複層塗材RE仕上としてください。 配筋はスラブリストCS15としてください。
25	2階平面詳細図1 テラス1において、側溝 W=100と記載がありますが、矩計図3では、W=300程度で図示されており、相違しています。矩計図3を正とし、テラスの排水溝はW=300と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A403・424)	平面詳細図を正としてください。
26	上記質疑に関連しますが、屋上の排水溝も同様にW=300と考えて宜しいでしょうか。又、排水溝 モルタル内に溶接金網 φ 2.6*50*50程度のひび割れ防止が必要と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。(A106・403)	W=300としてください。 溶接金網は要としてください。
27	給食機械室 屋根 パラペット笠木において、下記のように相違しています。矩計図5を正とし、ステンレス笠木と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 <input type="checkbox"/> 矩計図5…ステンレス笠木 <input type="checkbox"/> 給食室 矩計図…防水形複層塗材RE (A405・535)	宜しいです。

28	上記質疑に関連しますが、給食室 矩計図 防水形複層塗材REが正しい場合、防水アゴの仕上は、防水形複層塗材RE、ウレタン塗膜防水のどちらで見込めば宜しいでしょうか。御指示下さい。(A535)	防水アゴの仕上げについては、内訳書の通りウレタン塗膜防水としてください。
29	給食室 矩計図1において、樋受け石の記載がありますが、仕様が不明です。取消し線(斜め線)がされていますが、標準詳細図-1 A-9 ドレンまわり:樋受石を適用すると考えて宜しいでしょうか。不可の場合は、樋受け石の仕様・詳細を御指示下さい。(A535・701/A-9)	宜しいです。
30	給食室 北側バルコニー X11通り付近にスロープ 1/50の記載があり、スロープを境にスラブレベルがFL-280からFL-180で記載されていますが、構造図 3階伏図では、上記の段差が記載されていません。又、スロープ 1/50 1800mmでは100mmの段差になりません。構造伏図を正とし、給食室 北側バルコニー X11通り付近にスロープは不要と考えると宜しいでしょうか。不可の場合、正しい構造伏図、スロープの傾斜又はL寸法を御指示下さい。(A434・AS106)	宜しいです。
31	給食室 北側バルコニーにおいて、床仕上は長尺塩ビシートと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A434)	宜しいです。
32	給食室 ブリッジにおいて、排水溝、排水枥グレーチング 蓋 T-20の記載がありますが、仕様が不明です。スチール溶融亜鉛メッキ 細目ノンスリップ 溝幅300、枥500角と考えると宜しいでしょうか。(A406・434)	宜しいです。
33	部分詳細図28(給食ブリッジ詳細図)において、天井下地にケイカル板 t=8.0と記載がありますが、外部仕上表 軒天より t=8.0+8.0と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A201・748)	宜しいです。
34	部分詳細図30(給食ブリッジアルミカバー-2)において、アルミパネル下地 L-50*50*4のピッチが不明です。ピッチ1000程度と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A750)	宜しいです。

35	部分詳細図29・30(給食ブリッジアルミカバー1・2)において、構造 雑詳細図-7 B-Typeフレーム部分の詳細図と思われますが、A-Typeフレーム部分の詳細が不明です。A-Typeフレーム部分のアルミカバーの詳細図をご指示下さい。(A749・750・AS307)	B-Typeフレーム部分と同じとしてください。
36	上記質疑に関連しますが、標準詳細図 E-9 管理扉 ステンレス材の表面仕上はHL仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A437・705)	宜しいです。
37	給食ブリッジ～バルコニー接続部分に踏台の記載がありますが、仕様、詳細が不明です。後打コンクリート造 素地仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A437)	宜しいです。
38	1階平面詳細図5 X6・AY6付近 昇降口前に設置されている排水桝において、部分詳細図36(グレーチング2)に記載が無く、詳細が不明です。350*500角 クリーンピット YQ-H-A-15 桝:RL-15と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A418・756)	宜しいです。
39	<p>矩計図3 AY5通り 底において、先端部分にアングルの様な図示(下記添付)がありますが、仕様・詳細が不明です。不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は、アングルの材質、サイズ・厚みをご指示下さい。(A403)</p> 	アングルは不要です。
40	矩計図3 AY5通り 底 アルミ軒樋において、詳細が不明です。参考メーカー・品番等が御座いましたら、併せて御指示下さい。(A403)	HACO HIGH FRONT-GH同等品としてください。
41	矩計図3 AY5通り 底 アルミ軒樋において、堅樋の仕様、サイズ、設置数が不明です。ステンレス樋 φ100 2本設置と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A103・104・403)	宜しいです。

42	渡り廊下詳細図 α-α 断面図において、AY6通り 擁壁天端の仕上が不明です。コンクリート金縷 素地仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A715)	宜しいです。
43	地下1階 廊下B1-2前 通路において、床仕上が不明です。磁器質タイル 300角と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A411)	宜しいです。
44	地下1階 廊下B1-2前 通路において、平面詳細図に壁付手摺の記載がありますが、仕様・詳細が不明です。屋外階段2と同仕様の溶融亜鉛メッキ リン酸処理 φ32 2段と考えて宜しいでしょうか。不可の場合は、壁付手摺の仕様・詳細をご指示下さい。(A411・526)	宜しいです。
45	地下1階平面詳細図1 AY1 X2-5間 ドライエリアにおいて、床仕上が不明です。防水モルタル金縷仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A411)	バルコニーと同様とし、長尺シートとしてください。
46	地下1階平面詳細図1 AY1 X2-5間 ドライエリアにおいて、蓋無しの排水溝が図示されていますが、防水モルタル金縷仕上 W100*H50程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A411)	宜しいです。
47	地下1階平面詳細図1 AY1 X2-5間 ドライエリアにおいて、擁壁天端の仕上は防水形複層塗材RE仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A411)	バルコニーと同様とし、側溝までを防水形複層塗材RE仕上としてください。
48	2階 キッズルーム前 犬走りにおいて、コンクリート打ち放しと記載がありますが、コンクリート金縷 素地を示すと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A405)	宜しいです。

49	<p>2階 キッズルーム前 犬走りにおいて、仕上が 下記の様に相違しています。矩計図5を正 とし、コンクリート金鰻 素地と考えて宜しいで しょうか。 □矩計図5…コンクリート金鰻 素地 □2階平面詳細図6…砂利敷 2階平面詳細図6が正しい場合、砂利敷の 仕様・明確な砂利敷の範囲を御指示下さ い。(A405・426)</p>	宜しいです。
50	<p>2階キッズルーム前 犬走りにおいて、排水桧、 排水溝の記載がありますが、仕様が不明 です。部分詳細図35(グレーチング1) あ・う・ えに倣うと考えて宜しいでしょうか。不 可の場合は、2階キッズルーム前 犬走り 排水 桧、排水溝の仕様・詳細を御指示下さい。 (A405・756)</p>	宜しいです。
51	<p>2階キッズルーム前 犬走りにおいて、手摺の記 載がありますが、仕様・詳細が不明です。 部分詳細図23～25 階段金属手摺に倣うと 考えて宜しいでしょうか。不可の場合は 犬走り 手摺の仕様・詳細を御指示下さ い。(A405・743～745)</p>	宜しいです。
52	<p>地下1階平面詳細図1 X2通り 壁際に排水 桧、排水溝の記載がありますが、仕様が 不明です。仕様が不明です。部分詳細図 35(グレーチング1) あ・う・えに倣うと考 えて宜しいでしょうか。不可の場合は、B1階 X2通り 壁際に排水桧、排水溝の仕様・詳 細を御指示下さい。(A115・756)</p>	宜しいです。
53	<p>地下1階 廊下B1-1 X2通り側のサッシ部分に おいて、矩計図にW300*H75の踏台の図示 がありますが、平面詳細図では排水溝が 図示されており、相違しています。平面 詳細図を正とし、排水溝設置、踏台は無 しと考えて宜しいでしょうか。矩計図が 正しい場合、踏台の仕様・詳細、明確な範 囲を御指示下さい。(A401・411)</p>	宜しいです。
54	<p>地下1階 屋外階段1下部に手洗い・足洗い の様な図示がありますが、詳細が不明で す。標準詳細図-6 F-17 コンクリート製流し 詳細図に取消し線がありますが、適用す ると考えて宜しいでしょうか。御指示下さ い。(A411・706/F-17)</p>	宜しいです。

55	<p>上記質疑に関連しますが、標準詳細図-6 F-17 コンクリート製流し詳細図を適用する場合、下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>□スチールグレーチング…溶融亜鉛メッキ T-2 600*500 1ヶ所</p> <p>□排水目皿…ステンレス φ50 (A411・706/F-17)</p>	宜しいです。
56	<p>給食室前 搬入スペースにおいて、天井が直天井で記載されていますが、仕上は防水形複層塗材REと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A406)</p>	宜しいです。
57	<p>B1階ビロイ 天井仕上において、確認となりますが、ケイ酸カルシウム板部分は防水形複層塗材RE、木毛セメント板部はEP-Gと仕上が異なっていますが、図示通りの使い分けが必要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A404)</p>	宜しいです。
58	<p>2階北側バルコニーに給湯器カバーの記載がありますが、仕様・詳細が不明です。御指示下さい。(A427)</p>	質問No. 238の通りとしてください。
59	<p>屋外階段2・3 排水溝において、U字溝と記載がありますが、断面詳細を見ますと現場打コンクリート造作の様に見受けられます。現場打コンクリート造作とし、U字溝の設置は不要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A526・527)</p>	宜しいです。
60	<p>屋外階段1 壁付手摺において、仕様が不明です。屋外階段2・3に倣い、スチール溶融亜鉛メッキ リン酸処理 φ32 2段と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A525～527)</p>	宜しいです。
61	<p>バルコニー 床において、雑詳細図1では長尺シート下は床増打(t50～60程度)の図示ですが、矩計図ではモルタル(t70～80程度)の様な図示になっており相違しています。雑詳細図を正と考えるとバルコニーには床増打(t50～60程度)を見込と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A401・709)</p>	宜しいです。

62	雑詳細図1 バルコニー手摺壁において、笠木部分にスチールプレート t3.0 L=30程度が図示されていますが、溶融亜鉛メッキと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A709)	宜しいです。
63	バルコニー 金属手摺において、矩計図と部分詳細図で金属手摺の詳細が相違しています。部分詳細図を正と考え、バルコニーの手摺はステンレス製と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A401～402・742)	宜しいです。
64	1階バルコニー(X7/AY1付近)・3階バルコニー(X13/BY3付近)において、階段のような図示がありますが、詳細が不明です。詳細を御指示下さい。(A103・105)	No37. と同仕様としてください。
65	1階平面図 X1-2/AY4-5 吹抜部において、吹抜部の断面詳細の分かる図面等ございましたら御指示下さい。(A103)	ございません。
66	渡り廊下 δ-δ' 断面図において、CX2通り付近に柵の様な図示がありますが、平面図では該当箇所に柵の図示がなく相違しています。平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A713・715)	断面図が正で柵が必要です。 グレーチングはスチールで溶融亜鉛メッキ T-2としてください。
67	渡り廊下詳細図3 α-α' 断面図において、AY6通りの梁上にW150*H850のRC立上りが図示されていますが、仕上が不明です。天端・立上り共に打放補修(素地)仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A715)	左記に加え、仕上げを防水型複層塗材REとしてください。
68	渡り廊下詳細図5 エクステンションジョイントにおいて、仕上材充填(Exp. J外工事)とありますが、仕上げ材の詳細が不明です。詳細を御指示下さい。(A717)	無収縮モルタルとしてください。
69	屋外階段詳細図4 踏面・蹴上において、RC打放し金ゴテ押えと記載されていますが、図面ではモルタルの様な厚みが図示されています。踏面・蹴上共にモルタル仕上(t30)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A528)	宜しいです。

70	屋外階段1～5 床仕上において、矩計図では屋外階段2・3は踊場・踏面・蹴上共にタイル仕上で図示されていますが、その他の屋外階段の踊場・踏面・蹴上共にモルタル仕上(t30)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A402・404・525～529)	宜しいです。
71	屋外階段1 手摺壁において、屋外階段詳細図1では腰壁の位置にSUS鋼板t2.3が図示されていますが、部分詳細図23では鋼板の図示が無く相違しています。部分詳細図23を正と考えて宜しいでしょうか。又、腰壁のSUS鋼板が適用の場合は詳細を御指示下さい。(A525・743～745)	鋼板ありを正としてください。
72	屋外階段5において、片開き戸の図示がありますが、詳細が不明です。詳細を御指示下さい。(A529)	A705、E-09としてください。
73	外壁 吹付下に打放面目荒らし処理（WJ工法）と記載がありますが、洗浄強さが不明です。用途により洗浄強さが変更となる為、洗浄強さ（想定されているMpa数等）をご指示下さい。	最大吐出圧力280MPa、最大数量30L/minとしてください。
74	廊下B1-1・2の天井仕上げについて、仕上表では木毛セメント板+EP-Gとありますが、矩計図では木毛セメント板+EPと相違しています。仕上表のEP-Gを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202・401)	宜しいです。
75	廊下B1-1において、壁種L25の図示がありますが、壁種別図にはL25は無い為、L22と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A401・708)	宜しいです。
76	廊下の壁仕上げについて、仕上表ではRC打放し+カーキア塗装・EP-Gとなっていますが、展開図ではCH=2600までがカーキア塗装・CH=2600～がEP-Gとなっておりボード面にカーキア塗装になるため、相違しています。仕上表の通りRC打放し面にカーキア塗装・ボード面にはEP-Gと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202・502)	CH2600まで左記の考えで宜しいです。 CH2600以上はEP-Gとしてください。

77	壁種別図において、間仕切高さがスラブ-スラブかスラブ-天井かが不明です。L12・22～24・27・28・32・38はスラブ-スラブで見込むと考えると宜しいでしょうか。またこの場合、ボードも張り伸ばすと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A707・708)	左記はスラブ-天井でお見込みください。 L01～04、L11をスラブ-スラブでお見込みください。
78	廊下天井の杉準不燃羽目板t=15について、雑詳細図で塗装の記載がありませんが、UC塗りを見込むと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A711)	宜しいです。
79	仕上表 1F職員・来校者用玄関の床仕上げは磁器質タイル600*600とありますが、平面詳細図では磁器質タイル□300と相違しています。□300と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202・420)	宜しいです。
80	上記質疑の場合、昇降口は平面詳細図に□300の図示が無い為、磁器質タイル600*600と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202・418)	300角で統一ください。
81	1F職員・来校者用玄関の床仕上げはNC、廊下1-1はCTとありますが、平面詳細図で床仕上げの切り替わる範囲が不明です。職員・来校者用玄関の床仕上げもCTと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202・420)	宜しいです。
82	上記質疑と同様に1F職員・来校者用玄関の巾木仕上げも切り替え範囲が不明な為、磁器質タイル範囲以外はSBと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202・420)	宜しいです。
83	仕上表 1F廊下1-3の壁仕上げで沓合板目透かし張りt5.5+UCとありますが、平面詳細図では壁種から沓合板の範囲が無く、ボードか木毛セメント板がとなりますが、仕上げの塗装はボード面・木毛セメント板面共にEP-Gと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202・414・415)	宜しいです。

84	1F昇降口において、平面詳細図で壁種G18・L38とありますが、仕上表では木毛セメント板の記載が無く相違しています。木毛セメント板面にはEP-G塗装を見込むと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい(A202・418・707)	宜しいです。
85	平面詳細図1F廊下1-4において、防滑ビニル床シート張りの3方に見切縁の図示がありますが、4方に見込むと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A418)	宜しいです。
86	2F廊下2-1において、屋外階段3側に手摺がありますが、仕様は部分詳細図27の手摺と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A506・747)	宜しいです。
87	壁仕上げの合板目透し張りt=5.5について、仕上表ではUC塗装となっていますが、雑詳細図の合板コーナー納まりではOSUC、壁目地ではOSCLとあり相違しています。仕上表のUC塗装を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202・709)	宜しいです。
88	屋内階段2において、1FのL型踏面中央に手摺の図示がありますが、断面図では壁付手摺の図示がありますが、自立手摺と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A523)	宜しいです。
89	屋内階段3において、吹抜部分の自立手摺に補助手摺の図示がありませんが、階段吹抜部の自立手摺の補助手摺は不要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A524)	宜しいです。
90	B1F音楽室の展開図において、スピーカーやテレビ・オーディオラック等の別途工事の図示がありますが、建築工事で見込む下地がございましたら御指示下さい。(A450)	LGSの開口補強と合板 t = 12 を下地としてお見込みください。

91	平面詳細図B1F保健室の壁種について、G05という壁種がありますが、壁種別図にはG05は無く相違しています。G05はG02と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A411・707)	宜しいです。
92	平面詳細図B1F保健室にCL2とありますが、詳細が不明です。詳細を御指示下さい。(A411)	CB2の誤記になります。カーテンボックスをお見込みください。
93	B1F保健相談教材①において、ライニング壁の図示がありますが、トイレ内の仕上げ同様下記と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■ライニング壁 メラミン化粧板+耐水石膏ボード t=12.5+LGS65 ■ライニング甲板 メラミンボードフォーム (A411・466・704/D-5)	宜しいです。
94	B1F消火ポンプ室の壁仕上げについて、仕上表にGP-F素地とありますが、平面詳細図の壁種よりGWと読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202・413・707)	宜しいです。
95	壁仕上げのガラスウールボードについて、巾木取合部にはアルミ見切縁を見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A707)	宜しいです。
96	B1F消火ポンプ室の機械基礎について、天端・立上りは床仕上げ同様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A413)	宜しいです。
97	平面詳細図B1F児童更衣室において、壁種L25とありますが、壁種別図には記載がありません。L22と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A411・708)	宜しいです。

98	平面詳細図B1F技術員室等の壁種でG45とありますが、断熱材有りのG55と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A411・707)	宜しいです。
99	平面詳細図B1F技術員室・倉庫のAY1通りの壁種にG05とありますが、壁種別図にはG05は図示されておらず、相違しています。G02と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A411・707)	宜しいです。
100	平面詳細図B1Fゴミ置場の地流しについて、標準詳細図のモルタル地流しを見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A487・703/C-11)	宜しいです。
101	平面詳細図B1Fゴミ置場において、ラックのような図示がありますが、別途工事と考えて宜しいでしょうか。建築工事で見込む場合、詳細を御指示下さい。(A411・487)	宜しいです。 変更が必要となった場合には別途協議とします。
102	1F職員室の壁仕上げについて、汁合板目透かし張りt5.5+UCとありますが、平面詳細図の壁種がL22・G02・G52となるため、汁合板の範囲がありません。下地が全てボードとなるため、EP-G塗装を見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202・417・707)	宜しいです。
103	1F校長室や事務室等の各平面詳細図 展開図に手洗いユニット・鏡の図示がありますが、備品リストや仕上表等に記載が無い為、別途工事と考えて宜しいでしょうか。また建築工事で見込む場合、それぞれの仕様を御指示下さい。(A461～464)	宜しいです。
104	1F教育相談室において、壁種L22とL23がありますが、壁仕上げが汁合板目透かし張りt5.5+UCとあるため、L22はL23と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202・419)	宜しいです。

105	2Fキッズクラブルーム1において、ライニング壁の図示がありますが、トイレ内の仕上げ同様下記と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■ライニング 壁 マリン化粧板+耐水石膏ボード t=12.5+LGS65 ■ライニング 甲板 マリンボートフォーム (A483・704/D-5)	宜しいです。
106	特記仕様書のセルフベリング塗りについて、セメント系 NT・CT部全てとありますが、工事積算内訳書にはセルフベリングの項目が無い為、FL-15の範囲はコンクリートの増し打ちを見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A-014)	宜しいです。 変更が必要となった場合には別途協議とします。
107	柱型仕上げ詳細図の該当範囲が平面詳細図から読み取れない為、範囲を御指示下さい。(A712)	音楽教室の柱のうち、X3-AY5、X3'-AY5、X3-AY4と、廊下からの扉2か所に隣接した出隅部でお見込みください。
108	普通教室他に記載の掲示板について掲示板クロスと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A441)	宜しいです。
109	普通教室他に記載の掲示板下地材について全て雑詳細図1に記載の様に考えて宜しいでしょうか。下地材の使い分けが御座いましたら御指示下さい。(A441他, 709) ■掲示板クロス+ラワン合板t5.5+胴縁下地 杉 45*24@450ﾀﾞｲﾔｸﾞ	宜しいです。
110	普通教室 掲示板の周囲枠について下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■掲示板周囲枠→米ビバ 45*35+UC塗装	宜しいです。
111	部分詳細図1 普通教室のAW額縁について姿図とB・C部断面詳細図で下額縁の寸法に相違が御座います。断面詳細図のW=315を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A721)	宜しいです。

112	2階倉庫2-1の壁仕上げについて仕上表ではRC打放し+カーキア塗装とありますが、平面詳細図では壁がL22で囲われています。仕上はボード素地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202, 427)	ボードの上EP-Gとしてください。
113	1階倉庫 天井仕上げについて仕上表ではGB-D(T)と記載があっても、平面詳細図・展開図にて天井がRCの記載になっている箇所に関してはRC打放し+カーキア塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A202, 494, 495)	宜しいです。
114	2階少量危険物倉庫の排水桝とマシについてグレーチング等の蓋は無しと考えて宜しいでしょうか。必要でしたら仕様詳細を御指示下さい。(A485)	桝分のみ铸铁製グレーチングT-2をお見込みください。
115	1階耐火書庫の壁仕上げについて仕上表ではRC打放し+カーキア塗装となっていますが、ボード面仕上はボード素地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A203, 420)	ボード仕上げはEP-Gとしてください。
116	倉庫1-1横EPS-PS間の間仕切壁について壁種L22と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A419)	宜しいです。
117	スライディングウォール(SLW2)の懐壁について平面詳細図にてボードt=21+21の記載が御座いますが、強化石膏ボードと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A736)	宜しいです。
118	RF給食機械室と消音室取合の胴縁下のRC立上りについて下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■RC立上り→W220*H150	宜しいです。
119	凡例水勾配に水勾配50mm以上の場合は溶接金網φ100*100敷設とありますが、ピット床の水勾配t=50以上の箇所ありましたら、御指示下さい。(A101)	全ピットt=50mm以上としてお見込みください。

120	<p>ピット壁、釜場の仕上が不明です。 下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>■壁:打放補修 素地 ■釜場:防水モルタル 素地 (共通)</p>	宜しいです。
121	<p>断熱範囲図1凡例に、床スラブ下面梁部熱被含むとありますが、 矩計図3のピットスラブ下の断熱はスラブ下面のみの図示となっております。断熱範囲図1を正と考えて、梁部も断熱材を見込んでよろしいでしょうか。御指示下さい。 (A811, A403)</p>	宜しいです。
122	<p>矩計図5 BY3-BY4ピットに断熱材t=50立下りH=450の図示がありますが、他のピット内には立下りの図示はありません。ピット内全てに立下りH=450を見込んでもよろしいでしょうか。御指示下さい。(A405)</p>	宜しいです。
123	<p>昇降機設備は別途工事となりますが、工事区分表において昇降機工事で一部建築工事での区分となっている項目がありますが、昇降機関連図がありません。工事積算内訳書の内容のみ見積を行うと考えて宜しいでしょうか。 (A022, 現場説明書1)</p>	<p>内訳書の内容のみ積算してください。 ただし、変更が必要な場合には別途協議とします。</p>
124	<p>人通孔上部に取り付く握りバーをW=400 D=150と考えて見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。(A703)</p>	宜しいです。
125	<p>地下1階ピット図凡例では通気孔VP100φ、通水孔VP150φ半割。 標準詳細図-3 C-6では連通管:硬質塩化ビニル管200φ半割、通気管:硬質塩化ビニル管50φとなっております。またB1階伏図・1階ピット伏図凡例とも相違します。 地下1階ピット図凡例を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A101, A703, AS103)</p>	通気孔VP100φ、通水孔VP125φとしてください。
126	<p>特記仕様書では吹付硬質ウランフォームは厚50mmとなっておりますが、給食室矩計図では断熱材吹付t30となっております。特記仕様種を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A-016, A535)</p>	宜しいです。

127	部分詳細図31で耐火被覆 $t=40$ となっております。 特記仕様書では半乾式吹付ロックウール1時間耐火とありますが、厚さは25mmと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A-012, A751)	宜しいです。
128	WD1-01の仕上が化粧シートとありますが、レフィンシート貼と考えて宜しいでしょうか。宜しければ、メーカー・品番を御指示下さい。(A613)	宜しいです。
129	2Fトイレ2-5の仕上表備考欄に トイレブースと記載がありますが、平面図よりトイレブースは無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A104, 202)	宜しいです。
130	各男子便所に汚垂タイルの記載がありますが、仕様・寸法・詳細、参考メーカー・品番等が不明です。御指示下さい。(A489)	ハイドロセラ・フロア PU (薄型) 同等としてください。寸法は図面に記載寸法通りです。
131	3F調理室 エプロン掛(4人用)の記載がありますが、詳細図より5人用に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A531, 560)	宜しいです。
132	詳細図D-34 床排水トラップ の記載がありますが、仕様・寸法・詳細、参考メーカー・品番等が不明です。御指示下さい。(A559)	H5551C-W-50同等品としてください。
133	スマートフォーム断面図において、壁種別図1ではRC躯体+スマートフォーム+断熱材+各種仕上となっておりますが、雑詳細図2のスマートフォーム詳細図ではRC躯体+断熱材+スマートフォームとなっております。壁種別図を正と考えて宜しいでしょうか。(A707, 710)	宜しいです。
134	給食機械室に取り付く建具に於きまして、建具キープラン・建具表と給食室建具キープラン・建具表で記号・仕様が相違しています。給食室建具キープラン・建具表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A540, 541, 604, 613)	宜しいです。

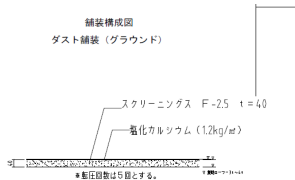
135	2階建具キープランに於きまして、地域交流室・倉庫2-4の外部側に窓のような図示がありますが、建具記号の記載がありません。建具表よりAW2-06と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A606, 608)	宜しいです。
136	SS1-03に於きまして、建具表に記載がありますが、建具キープランに記号の記載がありません。建具表通り1か所必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A614)	宜しいです。
137	シートシャッターに於きまして、建具表の寸法欄と姿図で寸法が以下のように相違しています。それぞれ姿図寸法を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 建具記号 建具表 姿図寸法 SH2-05 W4360 W4387.5 SH2-06 W16362.5 W10362.5 (A614)	宜しいです。
138	AW2-05に於きまして、建具表の寸法欄にH2300とありますが、姿図ではH2400となっており相違しています。姿図を優先しH2400と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A608, 609)	宜しいです。
139	SD0-10に於きまして、建具表の姿図ではガリの記載がありませんが、建具表の姿図凡例ではDWG-1(額・ガリ付)となっており相違しています。凡例を優先しがりは必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A601, 613)	宜しいです。
140	SS0-01に於きまして、建具表の備考欄に特定防火設備とありますが、防火性能欄に特定防火設備の記載がありません。備考欄を優先し特定防火設備は必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A614)	特定防火設備仕様は不要です。
141	SD0-08に於きまして、建具表の名称に2連片引きとありますが、建具キープランでは2連片開きとなっており相違しています。建具キープランを優先し2連片開きと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A604, 613)	宜しいです。

142	給食室のP1に於きまして、建具表の姿図はW1180となっておりますが、寸法欄にはW1220となっております相違しています。姿図を優先しW1180と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A542)	W1220を正としてください。
143	給食室のP3に於きまして、建具表の形式に上部オフンタイプ [○] の記載はありませんが、姿図より上部オフンタイプ [○] と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A542)	宜しいです。
144	LSD1-03に於きまして、建具表の姿図のラマ部分にガラスの記載がありますが、建具表のガラス欄にガラス仕様の記載はありません。強化4と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A613)	宜しいです。
145	LSD3-04に於きまして、建具表の姿図にガラスの記載がありますが、建具表のガラス欄にガラス仕様の記載はありません。強化4と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A613)	宜しいです。
146	SS(給食室を除く)に於きまして、建具表の仕上欄に図示とありますが、詳細図等にその図示はありません。SOP塗程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A614, 741)	宜しいです。
147	シャッター及びシートシャッター(給食室を除く)に於きまして、枠欄に図示とありますが、詳細図等に枠のような記載はありません。三方枠は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A614, 740, 741)	宜しいです。
148	給食室に取り付くシャッターに於きまして、枠欄にタタキ焼付とありますが、詳細図等に枠のような図示はありません。三方枠は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A541, 554, 558)	宜しいです。
149	アルミ製建具の防火設備に於きまして、建具表のガラス仕様に網入り(PW)6.8+A6+T5と記載のある建具がありますが、防火設備の個別認定制度よりLow-Eが必要と考え、PW6.8+A6+Low-E+T5と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A540, 541, 608)	宜しいです。

150	AW1-16に於きまして、建具表のガラス仕様に網入耐熱強化8.0とありますが、耐熱強化ガラスに網入り仕様はありません。通常の耐熱強化ガラス8.0と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A608)	宜しいです。
151	AW3-15に於きまして、建具表のガラス仕様にLow-E5+AL6+網入(PW)6.8とありますが、防火設備範囲は一部のみとなっております。もし非防火範囲でガラス仕様の変更がある場合、その仕様を御指示下さい。 (A609, 610)	防火設備範囲以外についてはLow-E5+AL6+TP5としてください。
152	SPのガラスに於きまして、建具表の欄外にガラスは全て型板ガラスとありますが、ガラス仕様には強化ガラスとあります。SPのガラスは窓図に透明と記載のあるもの以外すべて強化型板ガラスで見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A611)	宜しいです。
153	SPのガラスに於きまして、建具表に飛散防止フィルムの記載はありませんが、建具共通事項【ガラス】01に強化ガラスは飛散防止フィルムとあります。飛散防止フィルムは必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A601, 611)	宜しいです。
154	前記質疑に関連して、建具表に飛散防止フィルムの記載がない場合でも、強化ガラスを用いる場合は飛散防止フィルムが必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A540, 541, 601, 613)	宜しいです。
155	LSD0-01に於きまして、建具表の備考欄に三方枠H2600とありますが、LSD0-01のH寸法は幕板含めH2500となっております。三方枠はH2500と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A613)	幕板含めH2600としてください。
156	衝突防止マークに於きまして、建具表とサイン図で範囲が相違しています。衝突防止マークの範囲はサイン図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A608～614, 802～804)	宜しいです。
157	3階建具キープランに於きまして、X4・AY3部分のDSに片開き戸の図示がありますが、建具記号の記載がありません。この扉の寸法・仕様等詳細を御指示下さい。 (A607)	SD3-06と同様としてください。

158	外部SDに於きまして、建具表には記載がありませんが、建具共通事項2T-08より内部側にスチール額縁が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A602)	宜しいです。
159	1階平面図、3階平面図に於きまして、管理扉(計3ヶ所)の記載がありますが、建具キープラン等に建具記号の記載はありません。標準詳細図-5 E-9の管理扉の仕様で見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A103, 105, 705)	宜しいです。
160	前記質疑に関連して、3階平面図X13・BY3部分の管理扉に関しては袖部分に管理扉同仕様の袖格子を見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A105, 705)	宜しいです。
161	R階平面図に於きまして、ハ小屋部分に点検口の記載がありますが、建具キープラン等に建具記号の記載はありません。標準詳細図-1 A-6の点検口の仕様で見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A106, 701)	宜しいです。
162	SS3-03に於きまして、建具表の形式・開閉欄に収納防火戸の記載はありませんが、姿図より収納防火戸が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A614)	宜しいです。
163	SDのセミアタイト仕様建具の充填物に於きまして、建具共通事項1の標準事項ではガラスウール充填とありますが、建具共通事項2のT-02ではロックウール充填とあり相違しています。ロックウール充填を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A601, 602)	宜しいです。
164	シャッターに於きまして、建具共通事項1のシャッター-04に下部3枚のスラットはSUS製とありますが、該当建具が不明です。該当建具記号を御指示下さい。 (A601)	全てのSSとしてください。
165	アルミ製建具に於きまして、詳細図にLIXIL PRO-SE70とありますが、該当建具が不明です。すべてのAWに該当するものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A721～723)	全て同等品としてお考え下さい。

166	給食室のWD1, 2の枠に於きまして、建具表ではミシン化粧合板とありますが、詳細図では米ひば+UC塗となっており相違しています。詳細図を優先し米ひば+UC塗と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A541, 558, 560)	宜しいです。
167	α部植栽について、工事積算内訳書にも客土等の記載がない為、植え込み用土は既存のものとし、植栽基盤整備も不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A901)	宜しいです。
168	α部植栽面積について、α-1 630m ² 、α-2 1622m ² の範囲が不明瞭で算出根拠が不明です。指定数量と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A901)	宜しいです。
169	既存体育館の北側の舗装範囲について、外構平面図ではインターロッキング舗装のハッチングですが、アルミフェンス範囲図では既存アスファルトのままで相違しております。また、外構撤去平面図ではコンクリート舗装で相違しております。アルミフェンス範囲図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A901・906・921)	インターロッキングを正としてください。
170	外構詳細図2 A アルミフェンス 断面図でL型擁壁の寸法値が全て可変となっておりますが、外構詳細図4 Bフェンス 擁壁ありと同様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A903・905)	宜しいです。
171	アルミフェンス下部L型擁壁の仕上が不明です。コンクリート打放し補修仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A905)	宜しいです。
172	アルミフェンス門扉W900×H1800 3箇所の詳細図が無く不明です。基礎の詳細と併せて御指示下さい。(A905・921)	別添をご確認ください。

173	正門 敷地境界部に館銘サインS-01がありますが、外構詳細図2では下地擁壁の記載が無く、相違しております。擁壁が必要な場合は詳細を御指示下さい。(A801・806・903)	既存門柱に取り付ける仕様となります。
174	外構詳細図4 D RC立ち上がりに施設案内サイン、インターホン点字サインがありますが、サインプランに記載がありません。サインS-17、S-28をそれぞれ見込むと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A803・905)	宜しいです。
175	地下一階平面図 グラウンド側 AY1-2間に手洗い4口ありますが、詳細が不明です。標準詳細図-6 F-17 外構部分:コンクリート製流し詳細図に倣うと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A102・706)	宜しいです。
176	正門 アスファルト舗装部に駐車スペースがありますが、ライン引き・車止めの有無が不明です。標準詳細図-6 F-14 2本線の駐車マス・車止め トラフィックペイントに斜線となっている為、不要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A706・901)	宜しいです。
177	外構詳細図1 正門 詳細図で門塀沿いに縁石120角と玉砂利W300の記載がありますが、外構平面図では記載なく相違しております。外構詳細図1 正門 詳細図の通り見込むと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。(A901・902)	宜しいです。
178	スクリーニング舗装の詳細が不明です。詳細を御指示下さい。(A901)	下記としてください。 
179	舗装下の地盤改良の有無が不明です。不要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。また、必要な場合は範囲・仕様を御指示下さい。(A901)	不要ですが、特記の通り現場でのCBR検査の結果によって、現場協議とします。

180	建築工事特記仕様書(その7) 22. 舗装工事 3. 路床土の支持力比(CBR)試験で行うに○ がありますが、試験箇所数が不明です。 3箇所程度見込むと考えると宜しいでしょう か。御指示下さい。	宜しいです。
181	園庭2に学級園 畑が7か所ありますが、工 事積算内訳書にも寸法のための記載となっ ており、詳細が不明です。詳細を御指示 下さい。(A901)	別添をご確認ください。
182	インターロッキング舗装(車道用)の範囲が不明で す。不要と考えると宜しいでしょうか。御 指示下さい。(A902)	全て車両用としてお見込みください。
183	集水桝の各場所毎のH寸法が不明です。 H=450程度と考えると宜しいでしょうか。御 指示下さい。(A905)	宜しいです。
184	地下1階平面図で建物南側X2通りに門扉の 記載がありますが、外構平面図に記載な く相違しております。外構詳細図3の複連 引戸NA型を見込むと考えると宜しいでしょ うか。御指示下さい。(A102・902・904)	宜しいです。
185	外構詳細図3 スマートラインA1型門扉の適用範囲 が不明です。不要と考えると宜しいでしょ うか。御指示下さい。(A904)	宜しいです。
186	建物北東・東側のインターロッキング舗装及びスクリ ンク舗装範囲について、矩計図5及び6で は一部 犬走り コンクリート舗装で相違してお ります。矩計図5及び6を正と考えると宜し いでしょうか。御指示下さい。(A405・ 406・901)	犬走りについてはA104の範囲を正としてください。
187	側溝の耐荷重について、外構詳細図4に記 載無く不明です。給食室ブリッジ 道路境界 部と正門道路境界部のみT-20とし、その 他は歩行用と考えると宜しいでしょうか。 御指示下さい。(A901・905)	宜しいです。

188	工事区分表-7排水 雨水桝で躯体利用以外の もので建築工事に○がありませんが、 雨水第一桝は建築工事と考えて宜しいで しょうか。御指示下さい。(A022)	宜しいです。
189	工事区分表-7排水 排水溝、桝、及び蓋で 建築工事と設備工事に○がありますが、 排水溝は建築工事、桝は設備工事と考 えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A022)	1次桝までは建築工事です。
190	給食室 雑詳細図10 D-44 グリストラップ 詳細 図で※の表示は、屋外配管の導入高さに より決定とありますが、※h=300程度と考 えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A561)	h=600としてください。
191	外構詳細図2 ミニグラウト 詳細図 スロープ 建物 間にエクスパイトがありますが、厚みが不明で す。T=25程度と考えて宜しいでしょ うか。御指示下さい。(A903)	宜しいです。
192	スクリーング 舗装撤去の撤去厚はt=40と考 えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A906)	宜しいです。
193	スクリーング 舗装撤去範囲に建築工事と附帯 施設工事の区分ラインがありますが、いず れの範囲も本工事にて撤去を行うと考 えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A906)	附帯施設工事の区分は別途工事です。
194	凡例C 既存間知石擁壁撤去に階段、格子 フェンスの記載がありますが、階段の詳細、 設置箇所及び格子フェンスの仕様、H寸法を御 指示下さい。(A906)	階段、格子フェンスは解体工事で撤去予定です。
195	南側、既存U字溝U-240は蓋無しと考 えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A906)	宜しいです。

196	南側、既存ネットフェンス+CB塀撤去のネットフェンスのH寸法及びCB塀の詳細を御指示下さい。(A903)	ネットフェンスは平均H=1000mmとしてください。CB塀は一般的なCB塀として見込んでください。変更が必要となった場合には別途協議とします。
197	第三校舎残置部分、既存屋外階段の両側立上り壁の詳細を御指示下さい。(A910)	外構撤去詳細図-4に記載の通り、RC壁としています。
198	第三校舎残置部分、既存屋外階段の手摺H=800の詳細を御指示下さい。(A910)	金属手摺に関しては 支柱、手すり34φ程度とします。 RC手摺に関しては図面通りとしてください。
199	第三校舎残置部分、既存屋外階段の鋼製門扉のH寸法を御指示下さい。(A910)	H2000としてください。
200	南側、既存グレーチング側溝の側溝の仕様、寸法及びグレーチング蓋の仕様を御指示下さい。(A906)	U-240 +グレーチング蓋としてください。
201	南側、既存グレーチング側溝端部の集水桝の仕様、寸法及びグレーチング蓋の仕様を御指示下さい。(A906)	集水桝は600角、H450、 グレーチング蓋はスチール製としてください。
202	南側、既存U字溝U-240端部の集水桝の仕様、寸法及び桝蓋の仕様を御指示下さい。(A906)	集水桝は600角、H450、 グレーチング蓋はスチール製としてください。
203	既存排水管φ200C・250C・350Cは遠心力鉄筋コンクリート管と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A916)	φ200Vは塩ビ管、250C、350Cは遠心力鉄筋コンクリート管としてください。

204	既存コンクリート柵φ900の詳細及び柵蓋の仕様を御指示下さい。御指示下さい。(A916)	柵の詳細は図面に記載の通りです。 蓋は鋳鉄製蓋です。
205	凡例F既存植栽に石積みのような図示がありますが、詳細を御指示下さい。御指示下さい。(A907)	石積みはございません。
206	工事積算内訳書の外構その他工事において、南側正門や北側ミッドラウトスロープのコンクリート工事が人力と記載されております。人力打設では対応できない数量の項目もありますので、施工者計画によりポンプ打設等も可能と考えて宜しいでしょうか。(工事積算内訳書)	宜しいです。
207	現場説明書の15建設副産物の処理に関わる事項において、建設発生土のみ指定があり、解体時のコンクリート他廃材についての指定はありませんが、工事積算内訳書では指定処分となっております。現場説明書を正と考え、処分先に指定はないものと考えて宜しいでしょうか。指定がある場合は各廃材の処分先をご提示下さい。(現場説明書、工事積算内訳書)	コンクリート、アスファルト、路盤材等のがれき類は指定処分としてください。 内訳書上の処分先は下記です。 名称：世紀東急工業株式会社 横浜混合所 所在地：横浜市都筑区川和町219 その他の指定処分先については「本市工事に伴い排出する建設副産物の処分要領」をご確認ください。
208	山留めの撤去について、設計図では存置しないと記載がありますが、工事積算内訳書では残置と相違します。引抜き後の周辺地盤への影響を考慮し、工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。(A012)	宜しいです。
209	工事積算内訳書の仮囲いの項目に、引継ぎ分及び新規分の仮囲い数量が明示されておりますが、範囲が分かる資料がありません。外構撤去平面図1に新設仮囲いと書かれている範囲を引継ぎ部分、それ以外を新規分と考えてよろしいでしょうか。(A906、A1001)	A906に記載の仮囲い及び新規仮囲い部分は引継ぎ分とし、それ以外のA1002に記載の仮囲いは新規としてください。
210	工事区分表において、消火器が建築工事となっておりますが、工事積算内訳書に記載がありません。別途設備工事と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は詳細をご指示下さい。	内訳書を正としてください。変更が必要となった場合には別途協議とします。

211	図面内の各室平面詳細・展開図に「横浜市立小・中学校詳細・備品関係詳細図」参照としてG符号やその他I符号、及びJ符号があります。横浜市のホームページよりG符号は確認できましたが、I符号（給湯器カバー、手洗・足洗い他）及びJ符号（ファイリングキャビネット棟）が確認できません。I符号及びJ符号の最新標準図をご提示ください。	G家具・J備品図及びI詳細図を添付します。別添をご確認ください。
212	別紙質疑書として工事積算内訳書と図面による積算数量の差異等をまとめておりますが、現場説明書より工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。その際、一部建具工事等、個別認定に係る法規及びメーカー製作上変更が必要となる項目もありますので、契約後に内容精査の上、変更協議をお願いいたします。（工事積算内訳書）	現場説明書を優先とします。契約後、変更が必要な場合には別途協議とします。
213	工事区分表において、借地料が建設工事となっておりますが、該当範囲が不明です。該当範囲及び月額等、借地料の詳細をご提示下さい。（A022）	今回積算は不要です。契約後、別途協議とします。
214	家屋調査において、摘要欄に各種構造、延床㎡記載後に「他」と記載がありますが、該当範囲が不明です。指定数量・範囲図等詳細をご指示下さい。（工事積算内訳書）	木造A 70～130㎡未満 14戸 木造A 130～200㎡未満 7戸 木造A 200～300㎡未満 1戸 非木造イ 200㎡未満 2戸 共同住宅 70㎡未満 1戸 共同住宅 70～130㎡未満 1戸 共同住宅 130～200㎡未満 5戸 共同住宅 200～300㎡未満 1戸 借家人 49世帯 工作物 2か所 を事前事後としてください。
215	現場説明書の14施工・工程等に係る事項(10)に施工時間、施工方法、関係期間との協議等に施工時間・施工期間等は協議によると記載があります。工程・仮設計画にあたり、現段階で判明している学校行事等による作業不能日・運搬規制等の条件がありましたらご提示下さい。（現場説明書）	大まかな年間行事予定は下記です。 2月頃：全校集会 3月頃：卒業証書授与式、修了式 4月頃：着任式・始業式・入学式、学力調査 5月頃：学力調査 6月頃：授業参観 その他にも作業に影響する学校行事等もありますので都度調整をお願いします。
216	現場説明書の17周辺環境に対する配慮事項において、大型車両その通行日には工事用の出入口に加え、監督員の指示する箇所に通整理員を配置と記載がありますが、配置指定箇所が不明です。想定されている指定箇所をご指示下さい。（現場説明書）	南側搬出入口に至るまでの道路が狭いため、その経路上に配置としています。現場説明書に記載の通りの延べ人数を計上してください。契約後、変更が必要な場合には別途協議とします。

217	多目的室（集会・発表等）において、ひな段及び階段があり、仕上「天板：白樺積層合板t20 UC、側板：シ合板t20 UC」と記載がありますが、詳細図が無く、下地組が不明です。詳細図をご指示下さい。（A457）	A457図に追記しました。別添図をご確認ください。
218	配置予定技術者について、入札参加資格確認申請書の配置技術者調書に記載した配置予定技術者を、申告内容書（様式1-5）の提出の際に資格条件を満たす別の配置予定技術者に変更することは可能でしょうか。 また、変更可能である場合、入札参加資格確認申請書で提出した配置予定技術者ではなく、申告内容書（様式1-5）で提出した配置予定技術者を（5）若手・女性技術者の登用で定める「若手技術者」として加点の評価対象にするという認識でよろしいでしょうか。	申告内容書（様式1-5）の提出の際の、資格条件を満たす別の配置予定技術者については（5）若手・女性技術者の登用で定める「若手技術者」として加点の評価対象になります。 ただし、入札参加資格確認申請書の配置技術者調書から変更をご予定されているということですので、変更は可能ですが、入札説明書第16項第3号アに記載のとおり、落札候補（予定）者通知書の送付日から2日以内に配置技術者・現場代理人（変更）届出書（第6号様式その1）を提出いただくことになるため、審査の結果、若手・女性技術者が資格条件を満たさない場合は、配置いただくことができず、横浜市総合評価落札方式ガイドラインに記載のとおり、評価点が減点になる場合は、ペナルティの対象となるので、ご注意ください。
219	給食ブリッジの高力ボルト締付け本数において工事積算内訳書では3082本となっていますが、図面より算出すると3057本と相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。（AS307）	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
220	屋上目隠し鉄骨のH-244*175*7*11の重量において工事積算内訳書では9.9tとなっていますが、図面より算出すると12.6tと相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。（AS306）	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
221	屋上目隠し鉄骨のL-65*65*6の重量において工事積算内訳書では1.1tとなっていますが図面上には無く、相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。（AS306）	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
222	屋上目隠し胴縁において詳細が不明です。工事積算内訳書より、下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。（A753） ・C-150*50*20*3.2@750 GPL-6 2-M12（中ボルト）	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。

223	ハイライト鉄骨のPL-6(SS400)の重量において工事積算内訳書では33kgとなっていますが図面上には無く、相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(AS308)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
224	目隠し壁胴縁の中ボルト本数において工事積算内訳書では728本となっていますが、図面より算出すると649本と相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A753)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
225	給食機械室胴縁の中ボルト本数において工事積算内訳書では1319本となっていますが、図面より算出すると1240本と相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A532・535)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
226	シャッター受鉄骨のアンカーボルト本数において工事積算内訳書では44本となっていますが、図面より算出すると108本と相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A740~741)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
227	スライディングウォール受鉄骨のあと施工アンカー本数において工事積算内訳書ではPC-3020が計135本となっていますが、図面より算出するとPC-3020が79本、ウェッジ式トルコンアンカーが24本の計103本と相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A736)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
228	昇降口AW受鉄骨のアンカーボルト本数において工事積算内訳書では60本となっていますが、図面より算出すると64本と相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A722)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
229	渡り廊下本体鉄骨の高力ボルトにおいて工事積算内訳書ではM16のみとなっていますが、図面上ではM12・M20も必要であり相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(AS309)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
230	渡り廊下本体鉄骨の高力ボルト締付け本数において工事積算内訳書では857本となっていますが、図面より算出すると564本と相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(AS309)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。

231	外壁 打継目地シリングにおいて、工事積算内訳書では923㎡とありますが、図面より算出すると1687㎡と相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A102～113)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
232	外壁 誘発目地シリングにおいて、工事積算内訳では1074㎡とありますが、図面より算出すると1716㎡と相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A102～113)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
233	軒天 防水形複層塗材RE ケカル板面において、工事積算内訳書では59.6㎡とありますが、図面より算出すると209㎡と相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A401～406)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
234	EP-G塗り ケカル板面 見上において、工事積算内訳書では416㎡とありますが、図面より算出すると281㎡と相違しています。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。(A401～406)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
235	天井 けい酸カルシウム板において、工事積算内訳書では突付けで計上されていますが、設計図では目透しと相違しています。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。(A302～304)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
236	テラス屋根 コムチップ 舗装において、工事積算内訳書ではt=15で計上されていますが、設計図ではt=30と相違しています。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A401)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
237	テラス 床仕上 コムチップ 舗装 t=30と記載がありますが、工事積算内訳書ではt15と記載されております。工事積算内訳書を正として、ABC商会:パークコートコムチップ カラー-t15HS工法同等と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A401)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。

238	給湯器カバーにおいて、工事積算内訳書では2階バルコニー・2階北側バルコニー北側に2台×2列=4台のステンレスシンクカバー t2の給湯器カバーが1箇所ずつ記載されていますが、設計図では給湯器カバーの該当箇所は2階北側バルコニーと保健室横(地下1階)に記載されており、相違しています。該当箇所は2階北側バルコニーと保健室横と考え、給湯器カバーの詳細に関しては工事積算内訳書通りのステンレスシンクカバー t2と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A411・465)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
239	渡り廊下 床仕上において、工事積算内訳書では防水モルタルの厚みがt15とありますが、図面ではt80程度で図示されており相違しています。工事積算内訳書を正と考え、防水モルタルの厚みはt15と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A715)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
240	上記質疑に関連して、渡り廊下の階段仕上において、工事積算内訳書では防水モルタルt30と記載されていますが、図面ではモルタルの厚みの図示がないと思われます。工事積算内訳書を正と考え、階段の仕上は防水モルタルt30と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
241	渡り廊下 手摺において、工事積算内訳書では部分詳細図の手摺の仕様が記載されていますが、図面では手摺SUSφ34と記載されており、相違しています。工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A713)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
242	屋外階段3 X8/AY7-8 金属手摺において、工事積算内訳書では手摺の仕様が記載されていますが、該当範囲の手摺の仕様は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A527・747)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
243	壁仕上げの木毛セメント板について、壁種別図ではt=14とありますが、工事積算内訳書ではt=15と相違しています。工事積算内訳書のt=15を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A707)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
244	屋内階段の自立手摺について、屋内階段詳細図ではH=1100・1400・1600とありますが、工事積算内訳書では全てH=1100と相違しています。屋内階段詳細図の寸法を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A521～524)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。

245	工事積算内訳書 校舎棟 防水工事において、塗膜防水 平面 4.1㎡・立上り 3.1㎡計上されていますが、範囲が不明です。防水を見込む範囲を御指示下さい。	地下二重壁排水溝部分です。(A703)
246	工事積算内訳書 校舎棟 木工事において、壁 木製胴縁 728㎡とありますが、B1F音楽教室・1Fスタジオ室・3F多目的室(集会)の壁種 G21・22・L11・12の合計が191㎡となり相違しています。この範囲以外に木製胴縁を見込む範囲がございましたら御指示下さい。(A707・708)	左記部屋以外に各室掲示板の下地を含みます。(A709) 内訳書を正として計上してください。
247	工事積算内訳書 校舎棟 塗装工事において、SOP塗り 鉄鋼面 7.6㎡とありますが、該当範囲を御指示下さい。	方立金物(間仕切～サッシ取合部)およびトイレ出入口三方枠(270*25)部分です。
248	工事積算内訳書 校舎棟 塗装工事において、SOP塗り(糸幅300mm以下) 鉄鋼面 15165㎡とありますが、一方枠や三方枠等のSOP塗り(糸幅300mm以下)の合計が603㎡と数量が相違しています。SOP塗り(糸幅300mm以下)の該当範囲を御指示下さい。	ハイトドライト見切縁、トイレ出入口三方枠(138.5*25、170*25)、トイレ袖壁端部枠、職員更衣室1、2袖壁端部枠、廊下天井照明器具取付用金物、照明器具吊りパイプ、廊下天井計有孔合板、羽目板取付金物部分です。内訳書を正として計上してください。
249	工事積算内訳書 校舎棟 内装工事において、階段ビニル床シート 5.7㎡とありますが、仕上表はCT(ビニル床タイル)とあるため、階段ビニル床シートの範囲が不明です。該当範囲を御指示下さい。(A203)	該当範囲は2階廊下2-6の階段部分です。仕様は工事積算内訳書を正として計上してください。
250	工事積算内訳書 校舎棟 内装工事において、ビニル床タイル 厚さ2 コンポジションビニル床タイルKT 多湿部 帯電防止 232㎡とありますが、該当範囲が不明な為、範囲を御指示下さい。	該当範囲は昇降口です。
251	工事積算内訳書 校舎棟 内装工事において、ビニル床シート モルタル調 0.6㎡とありますが、該当範囲が不明な為、範囲を御指示下さい。	技術員室、技術員室倉庫の踏込部床です。
252	工事積算内訳書 校舎棟 内装工事において、壁 けい酸カルシウム板張り タイプ2(ノンアス)0.8FK 厚 8 11㎡とありますが、該当範囲を御指示下さい。	各所ライニング壁下地です。(A704 D-16)

253	工事積算内訳書 校舎棟 内装工事において、天井 木毛セメント板 t15 準不燃 塗装下 1.7㎡とありますが、範囲を御指示下さい。	廊下B1-1の下り天井部分です。
254	工事積算内訳書 校舎棟 内装工事において、木毛セメント板(SD1-12)とありますが、建具表に記載が無い為、無しと考えて宜しいでしょうか。木毛セメント板を見込む場合、詳細を御指示下さい。(A613)	ありとし、SDに表面張りとしてください。内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
255	工事積算内訳書 給食室 木工事において、AW付額縁 40*25 4.8mと165*25 3.2mとありますが、具体的な該当建具が不明です。御指示下さい。	40*25→AD11部分、165*25→AD12部分です。(A548 D-31、32)
256	工事積算内訳書 給食室 金属工事において、厨房機器周囲ステンレスパネ W60・W80・W100・W120・W130・W250・W290・W350の8項目の記載がありますが、各々の具体的な範囲が不明です。御指示下さい。	W60→牛乳冷蔵庫側部 H80→牛乳冷蔵庫下部 W100→食器消毒保管庫上部、側部 W120→食品保冷库、食品冷蔵庫下部 W130→食器消毒保管庫下部 W250→食品保冷库上部 W290→牛乳冷蔵庫上部 W350→食品冷蔵庫上部
257	工事積算内訳書 給食室 エット及びその他において、調理衣掛け 5人用のW寸法が650とありますが、詳細図D-39ではW700であり相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。(A560)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
258	工事積算内訳書 給食室 エット及びその他において、エプロン掛け 5人用のW寸法が700とありますが、詳細図D-39ではW650であり相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。(A560)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
259	工事積算内訳書 給食室 エット及びその他において、エプロン掛け 6人用のW寸法が800とありますが、詳細図D-39ではW900であり相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。(A560)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。

260	1F職員更衣室1・2の脱衣コーナーにおいて、棚と図示がありますが、仕様は積算内訳書の仕様に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A478)	A478図、内部仕上表下部に記載の通り、お見積りください。
261	断熱において、図面では壁・建具廻り・屋上設備基礎欠陥部等は断熱材吹付となっておりますが、工事積算内訳書では記載がありません。断熱吹付が正と考えて宜しいでしょうか。	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
262	AW0-03, 2-14, 2-25、2-26に於きまして、工事積算内訳書では水切とありますが、建具表には水切の記載はありません。積算上は工事積算内訳書を正とし水切は必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A608、工事積算内訳書P44, 45、85)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
263	AW3-03, 3-04, 3-08, 3-09, 3-12, 3-14に於きまして、工事積算内訳書に防火設備とありますが、建具表には防火設備の記載がありません。積算上は建具表を優先し防火設備は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A609、工事積算内訳書P45)	内訳書を正とし、防火設備としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
264	AW3-02に於きまして、工事積算内訳書に2連FIX窓とありますが、建具表では引違い窓となっております相違しています。積算上は建具表を優先し引違い窓と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A608, 610、工事積算内訳書P45)	内訳書を正とし、FIX窓としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
265	SD1-13に於きまして、工事積算内訳書では防火設備とありますが、建具表では特定防火設備となっております相違しています。積算上は建具表を優先し特定防火設備と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A613、工事積算内訳書P47)	内訳書を正とし、防火設備としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
266	SD2-06, 3-02に於きまして、工事積算内訳書に2連片引きとありますが、建具表では2連片開きとなっております相違しています。積算上は建具表を優先し2連片開きと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A613、工事積算内訳書P47)	建具表通り、2連片開きとしてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
267	SD1-12に於きまして、工事積算内訳書に木毛セメント板別計上とありますが、建具表の仕上は焼付塗装となっております相違しています。積算上は建具表を優先し焼付塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A613、工事積算内訳書P47)	焼付塗装としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。

268	SH2-05に於きまして、工事積算内訳書にH2505とありますが、建具表ではH2450とあり相違しています。積算上は建具表を優先しH2450と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A614、工事積算内訳書P50)	内訳書を正とし、H2505としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
269	SSに於きまして、工事積算内訳書と建具表で以下のように寸法が相違しています。それぞれ積算上は建具表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>建具記号</div> <div>工事積算内訳書</div> <div>建具表</div> </div> SS1-01 H2600 H2450 SS3-02 H2600 H2450 SS3-03 H2505 H2450 (A614、工事積算内訳書P51)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
270	SP0-01、3-07に於きまして、工事積算内訳書ではガラリ付の記載がありませんが、建具表ではガラリ付となっており相違しています。積算上は建具表を優先しガラリ付と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A611, 612、工事積算内訳書P52)	ガラリ付としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
271	SP3-01に於きまして、工事積算内訳書では引違い戸とありますが、建具表では片引き戸となっており相違しています。積算上は建具表を優先し片引き戸と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A612、工事積算内訳書P52)	片引き戸としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
272	SP3-02に於きまして、工事積算内訳書では6連となっておりますが、建具表・詳細図では5連となっております。積算上は建具表・詳細図を優先し5連と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A612, 726, 工事積算内訳書P52)	6連としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
273	SP2-10に於きまして、工事積算内訳書には扉:額入の記載がありませんが、建具表では額入となっており相違しています。積算上は建具表を優先し扉:額入と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A611、工事積算内訳書P86)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
274	給食室のAW5に於きまして、工事積算内訳書にステンレス下額縁の記載がありませんが、建具表ではステンレス下額縁の記載があり相違しています。積算上は建具表を優先しステンレス下額縁が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A541、工事積算内訳書P95)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。

275	AW0-03に於きまして、工事積算内訳書の名称に片開き戸の記載がありませんが、建具表では片開き戸の図示があり相違しています。積算上は建具表を優先し片開き戸が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A609, 工事積算内訳書P44)	片開き戸はなしとしてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
276	SPのガラスに於きまして、工事積算内訳書のパーテーション工事ではガラス共とありますが、ガラス工事ではSP用のガラスが計上されており相違しています。積算上はガラスは別計上と考え、ガラス工事に計上が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (工事積算内訳書P52, 54, 55, 86)	SPではガラスは計上されていません。SPはガラス別途とし、ガラス工事にて計上してください。
277	AWの外部性能に於きまして、工事積算内訳書では気密性:A-3、水密性:W-4とありますが、詳細図では気密性:A-4、水密性:W-5とあり相違しています。積算上は工事積算内訳書を優先し気密性:A-3、水密性:W-4と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A721, 723, 工事積算内訳書P44、85, 94)	気密性:A-4、水密性:W-5として計上してください。変更が必要な場合には別途協議とします。
278	AWの遮音性に於きまして、工事積算内訳書では遮音性:T-3とありますが、特記仕様書では遮音性:T-1とあり相違しています。積算上は工事積算内訳書を優先し遮音性:T-3と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A014、工事積算内訳書P44、85, 94)	遮音性:T-1として計上してください。変更が必要な場合には別途協議とします。
279	塗装工事に於きまして、工事積算内訳書の校舎棟・塗装工事内部(建具)にSOP塗り(糸幅300mm以下)が510m計上されておりますが、施工箇所が不明です。施工箇所を御指示下さい。 (工事積算内訳書P56)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
280	防水工事に於きまして、工事積算内訳書の給食室・防水工事外部に建具枠廻りシーリング10*10二重シールが54.6m計上されておりますが、施工箇所が不明です。施工箇所を御指示下さい。 (工事積算内訳書P89)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。

281	<p>外構ステップ 図 仮設校舎解体開始 新校舎(仮使用)利用開始で記載の下記の撤去工事が工事積算内訳書では記載がありません。別途工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A931)</p> <p><input type="checkbox"/> 仮設校舎用受水ポンプ 解体</p> <p><input type="checkbox"/> 仮設校舎用消化水槽消化ポンプ 解体</p> <p><input type="checkbox"/> 仮設給食室解体</p> <p><input type="checkbox"/> 仮設校舎解体</p> <p><input type="checkbox"/> 屋外渡り廊下1解体</p>	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
282	<p>グラウンド内の舗装、雲梯等が工事積算内訳書では記載がありません。別途工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A901・931)</p>	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
283	<p>上記質疑で本工事の場合、下記の詳細を基礎も含めてそれぞれ御指示下さい。(A901・931)</p> <p><input type="checkbox"/> グラウンド舗装構成</p> <p><input type="checkbox"/> グラウンドのライン引きの有無・仕様</p> <p><input type="checkbox"/> 体育砂場工</p> <p><input type="checkbox"/> ジャンケルジム</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄奉工</p> <p><input type="checkbox"/> ハト一棒</p> <p><input type="checkbox"/> 雲梯</p>	上記の通りです。
284	<p>園庭1内の下記の内容が工事積算内訳書では記載がありません。別途工事と考えて宜しいでしょうか。また、本工事の場合それぞれ詳細を御指示下さい。(A901・931)</p> <p><input type="checkbox"/> 体育倉庫</p> <p><input type="checkbox"/> 飼育小屋</p> <p><input type="checkbox"/> 教材池</p> <p><input type="checkbox"/> 立水栓・地流し</p> <p><input type="checkbox"/> 百葉箱</p> <p><input type="checkbox"/> ハマ棚</p> <p><input type="checkbox"/> 水田</p> <p><input type="checkbox"/> 造形砂場</p> <p><input type="checkbox"/> 学級園 畑</p> <p><input type="checkbox"/> 集水桝</p>	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
285	<p>園庭1内のスクリーング舗装は別途工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A901)</p>	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。

286	ミニグラウト [®] 及びPC法枠の北側にW1500×L27000程度の階段のような記載がありますが、工事積算内訳書では記載がありません。別途工事と考えて宜しいでしょうか。また、本工事の場合は断面詳細を御指示下さい。(A901)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
287	屋外階段4前U字溝について、屋外階段詳細図4ではW300×H300ですが、工事積算内訳書ではW240で相違しております。工事積算内訳書を正とし、外構詳細図4 U型側溝W240に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A528, 905)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
288	給食室ブリッジ [®] 道路境界部 U字溝について、部分詳細図28(給食ブリッジ [®] 詳細図)ではW400×H400ですが、工事積算内訳書ではW240で相違しております。工事積算内訳書を正とし、外構詳細図4 U型側溝W240に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A748, 905)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
289	本体躯体上部のアスファルト舗装について、詳細図がなく不明です。工事積算内訳書通り表層アスファルトt80と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A902)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
290	本体躯体上部のインターロッキング舗装について、外構詳細図1ではインターロッキングブロックt60+敷き砂層t30ですが、工事積算内訳書ではインターロッキング t60+敷き砂t20不織布で相違しております。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A902)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
291	外構平面図 α 部植栽 サツキについて、詳細が不明です。工事積算内訳書より、H0.4×W0.5 10本/m2と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A901)	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。

292	<p>舗装の面積について、下記の通り工事積算内訳書と算出数量で相違しております。算出数量を正と考えて宜しいでしょうか。(A401, 405, 406, 901)</p> <table><thead><tr><th></th><th>工事積算</th></tr></thead><tbody><tr><td>内訳書</td><td>算出数量</td></tr><tr><td>□地下1階インターロッキング舗装</td><td>184m2</td></tr><tr><td>257m2</td><td></td></tr><tr><td>□インターロッキング舗装</td><td>996m2</td></tr><tr><td>883m2</td><td></td></tr><tr><td>□スクリーニング舗装</td><td>509m2</td></tr><tr><td>453m2</td><td></td></tr><tr><td>□玉砂利</td><td></td></tr><tr><td>45.9m2</td><td>48.1m2</td></tr></tbody></table>		工事積算	内訳書	算出数量	□地下1階インターロッキング舗装	184m2	257m2		□インターロッキング舗装	996m2	883m2		□スクリーニング舗装	509m2	453m2		□玉砂利		45.9m2	48.1m2	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。
	工事積算																					
内訳書	算出数量																					
□地下1階インターロッキング舗装	184m2																					
257m2																						
□インターロッキング舗装	996m2																					
883m2																						
□スクリーニング舗装	509m2																					
453m2																						
□玉砂利																						
45.9m2	48.1m2																					
293	<p>外構詳細図4 D RC立ち上がりの仕上材について、図面では防水型複層塗材RE7素ですが、工事積算内訳書では外装薄塗材Eで相違しております。工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A905)</p>	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。																				
294	<p>正門の門扉及びミゲラント部 扉の仕上材について、図面では外装薄塗材 Eですが、工事積算内訳書では防水型複層塗材 RE7素で相違しております。工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A902, 903)</p>	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。																				
295	<p>外構土工事の工作物解体部の埋戻しの数量が、工事積算内訳書では53.1m3とありますが、図面より算出すると約148m3と相違します。工事積算内訳書が正の場合、工作物解体部の埋戻し 53.1m3の内訳を御指示下さい。</p>	内訳書を正としてください。 第三校舎残置部分撤去部分、地中埋設配管撤去です。 変更が必要な場合には別途協議とします。																				
296	<p>L型側溝撤去の数量が、工事積算内訳書では145mとありますが、図面より算出すると209m(附帯工事施設範囲16mを含む)と相違します。積算上は工事積算内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A906)</p>	内訳書を正としてください。変更が必要な場合には別途協議とします。																				
297	<p>工事積算内訳書より地中埋設配管撤去はφ75～350 129mですが、給排水衛生設備配置図ではφ200C・250C・350Cの合計47.5mと相違しています。工事積算内訳書が正の場合、埋設管の仕様及び管径毎のm数を御指示下さい。(A916)</p>	内訳書を正としてください。 φ75：21.5m φ200：34.0m φ250：32.3m φ350：41.0m 変更が必要な場合には別途協議とします。																				

298	<p>工事積算内訳書より発生材処理 運搬の発生材積込みに無筋コンクリート類 449m³の記載がありますが、図面より算出すると約366m³と相違します。工事積算内訳書が正の場合、無筋コンクリート類 449m³の内訳を御指示下さい。</p>	<p>内訳書を正としてください。 コンクリート舗装：47.9m³ A. コンクリート擁壁：10.5m³ B. コンクリート擁壁：55.1m³（階段、桷含む） C. 間知石擁壁：184m³（階段含む） D. 間知石擁壁：3.8m³ 南側. ネットフェン基礎：3.4m³ U字溝：5.1m³ L型側溝：11.6m³ 第三校舎残置部分撤去：115m³ 中埋設配管撤去：11.5m³ 変更が必要な場合には別途協議とします。</p>
299	<p>工事積算内訳書より発生材処理 運搬の発生材積込みと発生材運搬に内装材(石こうボード類) 2m³の記載がありますが、図中に見当たりません。工事積算内訳書が正の場合、内装材(石こうボード類)の厚み及び撤去範囲を御指示下さい。</p>	<p>内訳書に記載の「石こうボード類」は誤記です。具体的な内容としてはメッシュフェンス、U字溝のグレーチング蓋、第三校舎残置部分撤去の金属手すり、地中配管です。ただし、変更が必要な場合には別途協議とします。</p>
300	<p>工事積算内訳書より発生材処理 処分の発生材処分に建設廃材指定処分費 2.3tの記載がありますが、詳細が不明です。該当撤去物の内訳を御指示下さい。</p>	<p>具体的な内容としてはメッシュフェンス、U字溝のグレーチング蓋、第三校舎残置部分撤去の金属手すり、地中配管です。ただし、変更が必要な場合には別途協議とします。</p>
301	<p>工事積算内訳書より発生材処理 処分の有価物売却に鉄スクラップ 控除 44.9tの記載がありますが、詳細が不明です。該当撤去物の内訳を御指示下さい。</p>	<p>外構工事 撤去工事における鉄筋くずを指します。発生材処分の無筋コンクリート類449m³にたいして100 kg / m³相当で算出しております。ただし、変更が必要な場合には別途協議とします。</p>

学校整備課 電話045-671-2969